

「マヌカハニー青汁」など

食品と化粧品での「内外美容」を訴求

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、〒103-6262・1511)は、優れた抗菌作用などで近年高い注目を集めているニュー

クロデキストリン)を組み合わせた「マヌカハニーα-オリゴパウダー」の提案を強化している。自社製品では、同じくNZ産の有機大麦若葉にMAPを配合した「マヌカハニー青汁」を関連会

社のコサナより販売しており、売り上げは好調だ。マヌカハニーは、抗菌成分のメチルグリオキサール(MGO)や抗酸化成分のシリリング酸メチルを他のハチミツよりも豊富に含むことが知られている。

一方、同社の研究ではα-オリゴ糖と組み合わせることで、抗菌作用と抗酸化作用が相乗的に高まると判明した。

特に、MAPの抗菌作用は悪玉菌を選択的に抑制し、腸内環境を有意に改善することが分かっているため、腸内フローラの改善作用と抗酸化作用の二つのアプローチで美容やアンチエイジング効果が期待できる。

また、MAPを肌に塗布することにより、ニキビを引き起こすアクネ菌やニキビダニ(顔ダニ)の活動を抑制することも

オークランド大学の研究などで確認されているほか、抗酸化・抗炎症作用を有するシリリング酸メチルも含むことから、化粧品としても美肌効果を発揮することが分かっている。

「マヌカハニー青汁」の場合、MAPに加えてビタミンやクロロフィルなど大麦若葉の有用成分も含まれるため、より優れた美容効果が期待され

ており、食品と化粧品による内外からのアプローチで美容やアンチエイジングを訴えている。なお、9月11日には、コサナ東京オフィスにて『マヌカハニー青汁』の効能一とのテーマでセミナーを開催する。

参加申し込みは同社ホームページ(htt p://www. cos ana. jp/)から可能。